

閉会挨拶

常務理事の下野と申します。

本日は予想を上回る 300 名を超える方々に参加いただき、盛況裡にセミナーを開催することができました。ご多用の中多数の方にご参加いただき、ありがとうございました。

予定の時間を超える大変活発な議論を通じて「自動運航船に関する民事責任」という、専門的ですが大変重要なテーマに関する IMO での審議の動向や衝突責任ルールは変わるのかといった論点などについてわたし自身も大いに理解が進みました。

大変多忙な中、本日ご登壇いただいた 3 人の先生方に心より感謝申し上げます。

先月、国土交通省において「自動運航船検討会」が設置され、2030 年の商用運航の実現に向けて本格的な検討が開始され、多くの方の関心が高まっていると感じています。

技術開発をどう進めていくのかといった課題に加えて、安全運航のためのルールづくりや海難救助の問題、製造物責任の問題、堪航性の問題など検討すべき課題は多岐にわたります。清水先生もご指摘いただいたように、今後はこれまで以上に産官学の皆様が連携し、力と知見を結集して課題の克服に向けて取り組んでいくことが必要ではないかと考えています。

海事センターとしては微力であり、どこまで対応できるかわかりませんが、藤田先生たちのご指導を受けつつ、どのように貢献できるのか考えて参りたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。